

第 3 2 回米子市水道事業審議会 資料

- ・令和 4 年度米子市水道事業会計予算（案）
について

令和 4 年 2 月 8 日（火）

令和 4 年度当初予算の概要

編 成 方 針

米子市水道事業は人口減少や節水型社会の進展による水需要の減少、高度成長期に建設された老朽施設の更新費用の増加、多発する自然災害への備えなど多くの課題に直面している。

こうした状況を踏まえ、安全な水を安定的に供給していくことを目的とし、平成 30 年度に「第 2 次米子市水道事業基本計画」、令和 2 年度に「米子市水道事業経営戦略」を策定したところであり、これらの計画に基づき、将来にわたり健全な事業運営を持続するため、令和 4 年度予算においては、さらなる事務事業の効率化を図るとともに、計画に掲げた施策の検証、見直しに基づき進捗を図る予算編成とした。

料 金 収 入

令和 3 年度における年度序盤の給水収益は、令和 2 年度序盤に比べ回復の兆しを見せたが、夏季は、例年の 3 倍の降水量により大きく落込みを見せた。秋季は、比較的天候に恵まれたことから若干回復したものの、決算は前年度決算を下回る見込みである。

このように、依然として給水収益は減少する状況が続いており、過去の推移等を勘案し、前年度の当初予算と比較して、0.54%（1,625 万円）の減収を見込むこととした。

建 設 投 資

管路の更新、耐震化については、引き続き境港市へ向かう基幹管路更新事業を進めていく。また、前年度に引き続き、防衛省の安定給水補助事業として、境港市で大口径配水管の布設替工事を実施する。

水源施設の整備、更新については、戸上水源地電気設備更新や取水井戸のリニューアルなどを進める。また、石州府水源地開発事業として、今年度は、配管網整備を実施する。

予算規模（当初予算比較）

▲収益的収支（税込み） ～水道水をお届けするための経常的な予算～

収益的収入総額は、36 億 2,672 万円で、対前年度比で 0.7%（2,498 万円）の減、うち給水収益は、対前年度比で 0.54%（1,625 万円）の減となっている。

収益的支出総額は、33 億 3,696 万円で、配水費の減などにより、対前年度比で 0.9%（31,789 万円）の減となっている。

この結果、純利益は消費税込みで 2 億 8,976 万円（消費税抜きで 2 億 777 万円）となる見込みである。

▲資本的収支（税込み） ～水道施設を整備するための投資的な予算～

資本的収入総額は、6 億 5,203 万円で、企業債などの減により、対前年度比で 49.5%（6 億 4,031 万円）の減となっている。

資本的支出総額は、20 億 3,305 万円で、建設改良費の減により、対前年度比で 24.9%（6 億 7,276 万円）の減となっている。

令和4年度事業計画

本年度実施する主な事業を示しています。

税込み(単位:千円)

事業名	事業内容	令和4年度 当初 予算額	令和3年度 当初 予算額	増減	対前年 度比
1 配水管改良事業	計	千円 697,341	千円 757,865	千円 △ 60,524	% 92.0
(1) 配水管	铸铁管 ポリエチレン φ 50～φ 200mm 3,653 m	193,565	219,349	△ 25,784	88.2
(2) その他	離脱防止金具取付工事ほか	27,192	19,723	7,469	137.9
(3) 負担金工事	铸铁管 ポリエチレン管 φ 50～φ 200mm 5,922 m	317,450	352,176	△ 34,726	90.1
	離脱防止金具取付工事ほか	152,963	161,007	△ 8,044	95.0
	消火栓 φ 75mm 11 か所	6,171	5,610	561	110.0
2 老朽管更新事業	铸铁管 ポリエチレン φ 50～φ 100mm 2,010 m	107,603	106,784	819	100.8
3 基幹管路更新事業	富益工区 铸铁管 φ 500mm 700 m	237,273	129,526	107,747	183.2
4 防衛補助事業	境港市幸神町地内 铸铁管 φ 300mm 252 m	55,125	53,039	2,086	103.9
5 石州府水源地開発事業	石州府水源地開発に係る配水管整備 鋼管 ポリエチレン 96 m φ 150～φ 200mm 石州府水源地開発に係る設計業務委託	83,820	—	83,820	皆増
6 戸上水源地整備事業	米子市福市 戸上水源地電気設備更新事業(継続費) 深井戸1号井更新工事	166,824	574,460	△ 407,636	29.0
7 車尾水源地調整池更新事業(R2～R4)	場内整備工事	100,870	479,132	△ 378,262	21.1
8 米子市水道料金及び下水道使用料徴収等業務委託	米子市水道料金及び下水道使用料徴収等業務委託(R4～R10)	令和4年度債務負担行為、限度額1,270,280千円 ※支出は令和6年度から年額254,056千円を予定			

継続費に関する年割額予定

- ◇ 事業名
戸上水源地 電気設備更新事業
- ◇ 事業内容

戸上水源地は米子市水道局の中枢を担う取水送配水施設の拠点として、昭和60年に完成し、現在に至っている。

本事業は、取水送配水に関わる受変電設備、非常用発電設備など動力の基となる重要な設備であり、戸上水源地の重要性を鑑み、水道事業の安全性、信頼性を高め、健全化・長寿命化を図るための更新である。

これらの設備は日頃よりメンテナンス、保守点検など適正な維持管理を行っているが、完成から36年が経過し故障リスクが飛躍的に高まっていることもあり、基本計画、詳細設計を経て令和3年度から令和7年度までの5か年での事業展開を計画している。

全 体 計 画				前 年 度 末 ま での 支 払 義 務 発 生 (見 込) 額	当 該 年 度 支 払 義 務 発 生 予 定 額	当 該 年 度 末 ま での 支 払 義 務 発 生 予 定 額	翌 年 度 以 降 の 支 払 義 務 発 生 予 定 額	継 続 費 の 総 額 に 対 する 率	備 考
年度	年 割 額	左 の 財 源 内 訳							
		企 業 債	損 益 勘 定 留 保 資 金 ほ か						
令和	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	%	通次繰越 (見込) 357,469 千円
3	475,218	350,000	125,218	117,749	0	117,749	0	9.4	
4	105,444	90,000	15,444		462,913	462,913	0	37.0	
5	364,731	330,000	34,731				364,731		
6	280,680	250,000	30,680				280,680		
7	25,482	0	25,482				25,482		
計	1,251,555	1,020,000	231,555	117,749	462,913	580,662	670,893	46.4	

継続費逡次繰越による決算見込額

	令和3年度 予算額	令和4年度 予算額	令和3年度 予算から 令和4年度 予算へ 繰越額	令和3年度 決算見込額	令和4年度 決算見込額
建設改良費	2,201,563	1,411,481	357,469	1,844,094	1,768,950
企業債	960,000	280,000	270,000	690,000	550,000

令和4年度米子市水道事業会計当初予算総括表

1 収 益 的 収 入

税込み（単位：千円）

科 目	令 和 4 年 度	令 和 3 年 度	増 減	対前年度比	主 な 内 容
1 営 業 収 益	3,287,964	3,314,874	△ 26,910	99.2	
(1) 給 水 収 益	2,999,624	3,015,870	△ 16,246	99.5	水道料金収入
(2) 受託工事収益 ※注1	163,962	172,007	△ 8,045	95.3	下水及び土木工事に伴う 負担金工事収入 152,963 受託修繕工事収入 9,295
(3) 加 入 者 納 付 金	30,731	32,883	△ 2,152	93.5	新設加入者
(4) そ の 他 営 業 収 益	93,647	94,114	△ 467	99.5	検査手数料収入 8,023 消火栓維持補修負担金ほか 11,650 下水道使用料 徴収事務受託料 73,864
2 営 業 外 収 益	338,743	336,821	1,922	100.6	
(1) 受取利息及び配当金	701	56	645	著増	預金利息収入
(2) 他 会 計 補 助 金	8,451	9,965	△ 1,514	84.8	統合簡水に係る一般会計補助金ほか
(3) 補 助 金	0	150	△ 150	皆減	
(4) 長 期 前 受 金 戻 入	327,553	324,567	2,986	100.9	
(5) 雑 収 益	2,038	2,083	△ 45	97.8	「よなごの水」販売代金 663 駐車場収入 567
3 特 別 利 益	10	10	0	100.0	
(1) 過年度損益修正益	10	10	0	100.0	
合 計	3,626,717	3,651,705	△ 24,988	99.3	

※注1 受託工事収益・・・原因が水道局以外の他者による工事で、原因者が支払うことによる工事代金

2 収 益 的 支 出

税込み (単位: 千円)

科 目	令 和 4 年 度	令 和 3 年 度	増 減	対前年度比	主 な 内 容
1 営 業 費 用	3,061,297	3,158,106	△ 96,809	96.9	
(1) 原 水 及 び 浄 水 費	446,378	479,637	△ 33,259	93.1	動力費 136,912 委託料 (各設備保守委託料ほか) 51,085 水源設備修繕費 39,346 薬品費 4,664 負担金 32,000
(2) 配 水 費	295,784	362,657	△ 66,873	81.6	工事請負費 27,192 配水管等維持修繕費 107,948 委託料 (休日修繕業務委託料ほか) 36,600
(3) 給 水 費	148,252	149,092	△ 840	99.4	検漏メーター取替工事費 40,345 メーター修理費ほか 55,016
(4) 受 託 工 事 費	164,008	172,052	△ 8,044	95.3	下水及び土木工事に伴う工事費 152,963 受託修繕工事費 10,945
(5) 業 務 費	307,671	320,489	△ 12,818	96.0	料金システムほか賃借料 13,965 委託料 (点検委託料ほか) 66,572 通信運搬費 15,263
(6) 総 係 費	301,292	316,699	△ 15,407	95.1	委託料 16,624 備消耗品費 6,109
(7) 減 価 償 却 費	1,255,568	1,251,448	4,120	100.3	固定資産減価償却費
(8) 資 産 減 耗 費	142,179	105,867	36,312	134.3	管路撤去工事費 91,678 固定資産除却費 50,000
(9) そ の 他 営 業 費 用	165	165	0	100.0	
2 営 業 外 費 用	262,689	197,639	65,050	132.9	
(1) 支 払 利 息 及 び 企 業 債 取 扱 諸 費	136,955	142,335	△ 5,380	96.2	企業債利息 136,955
(2) 雑 支 出	600	600	0	100.0	
(3) 消 費 税 及 び 地 方 消 費 税	125,134	54,704	70,430	228.7	
3 特 別 損 失	3,000	3,000	0	100.0	
(1) 過 年 度 損 益 修 正 損	3,000	3,000	0	100.0	過年度分の料金減額還付など
4 予 備 費	10,000	10,000	0	100.0	
(1) 予 備 費	10,000	10,000	0	100.0	
合 計	3,336,986	3,368,745	△ 31,759	99.1	
純 利 益	289,731	282,960	6,771	102.4	税抜き額 207,765千円

収益的支出

各科目の解説（10Pに記載してあるものは除いています。）

原水及び浄水費	原水の取入れ、ろ過滅菌設備の維持などに要する費用
配水費	配水池、配水管などの維持などに要する費用
給水費	給水装置（注2）、量水器などの維持などに要する費用
受託工事費	原因が水道局以外の他者による工事費
業務費	水道料金の検針、請求などに要する費用
総係費	水道事業活動全般に関連する費用
資産減耗費	有形固定資産の除却（注3）又は撤去費等 固定資産の除却は非現金支出、撤去費は現金支出
その他営業費用	給水装置用の販売器具、材料等の原価と雑支出
過年度損益修正損	前年度以前の損失の修正 過年度の水道料金の調定減額など

注2 給水装置・・・配水管から分岐した部分からお客様の給水栓（蛇口など）までの装置

注3 除却・・・更新などで使わなくなった固定資産の簿価をなくす（費用化）すること

注3 消費税及び地方消費税資本的収支調整額・・・

資本的収支の消費税額 消費税納付額は、収益的収支、資本的収支合わせて計算し、収益的収支に計上する。このため、収益的収支は、収入が不足している資本的収支の分も消費税額控除を受けているので、税込み処理では、その分は資本的収支への補填財源となる。税込み処理の計算上の数字で現金収入があるわけではない。

収益的収入			
仮受 消費税額 ①	2,000	仮払 消費税額 ②	300
①-②	1,700		
消費税 計上額	1,500		
差し引き	200		
消費税納付額の計算			
仮受		仮払	
①	2,000	②	300
③	100	④	300
計	2,100	計	600
消費税納付額		2,100-600=1,500	

資本的収支			
仮受 消費税額 ③	100	仮払 消費税額 ④	300
③-④	-200		

3 資 本 的 収 入

税込み（単位：千円）

科 目	令 和 4 年 度	令 和 3 年 度	増 減	対前年度比	主 な 内 容
1 企 業 債	280,000	960,000	△ 680,000	29.2	老朽管更新事業 90,000 基幹管路更新事業 90,000 戸上水源地電気設備改修 100,000
2 工 事 負 担 金	247,481	256,405	△ 8,924	96.5	配水管負担金工事収入
3 他 会 計 出 資 金	4,724	4,610	114	102.5	統合簡水に係る一般会計出資金
4 補 助 金	119,827	71,331	48,496	168.0	基幹管路更新事業 90,325 防衛補助事業 29,502
合 計 ①	652,032	1,292,346	△ 640,314	50.5	

4 資 本 的 支 出

税込み（単位：千円）

科 目	令 和 4 年 度	令 和 3 年 度	増 減	対前年度比	主 な 内 容
1 建 設 改 良 費	1,411,481	2,109,802	△ 698,321	66.9	
(1) 改 良 費	1,411,481	2,109,802	△ 698,321	66.9	水源施設整備費 245,759 配水管布設ほか工事費 994,443 委託料 22,000 水質検査機器・メーター・車両更新費等 149,279
2 企 業 債 償 還 金	622,248	596,010	26,238	104.4	
(1) 企 業 債 償 還 金	622,248	596,010	26,238	104.4	元金償還金
合 計 ②	2,033,729	2,705,812	△ 672,083	75.2	

②－① （投資的経費の収支の不足額）

税込み（単位：千円）

科 目	令 和 4 年 度	令 和 3 年 度	増 減	対前年度比	主 な 内 容
差 引 不 足 額 ③	1,381,697	1,413,466	△ 31,769	97.8	

5 資本的収入不足額の補てんの内容

(前頁の投資的経費の収支の不足額③を以下のとおり補てんする。)

税込み (単位: 千円)

科 目	令和4年度	令和3年度	増 減	対前年度比	主 な 内 容
当年度分損益勘定留保資金	978,515	977,380	1,135	100.1	当年度の減価償却費など
繰越利益剰余金	321,216	286,471	34,745	112.1	
当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額	81,966	149,615	△ 67,649	54.8	注4
合 計	1,381,697	1,413,466	△ 31,769	97.8	

6 予定剰余金処分計算 (税抜き)

《処分(補てん)前の合計額》

税抜き (単位: 千円)

科 目	令和4年度	令和3年度	増 減	対前年度比	主 な 内 容
繰越利益剰余金	3,025,583	2,570,947	454,636	117.7	
当年度利益剰余金	207,765	133,378	74,387	155.8	収益的収支の損益結果
合 計 ④	3,233,348	2,704,325	529,023	119.6	

《処分額》

税抜き (単位: 千円)

科 目	令和4年度	令和3年度	増 減	対前年度比	主 な 内 容
建設改良積立金 (補てん財源)	321,216	286,471	34,745	112.1	(建設改良費の補てん財源として全額使用)
減債積立金	10,400	6,700	3,700	155.2	
合 計 ⑤	331,616	293,171	38,445	113.1	

*決算認定と同時に、処分する予定。

④－⑤ 《補てん後の最終額》

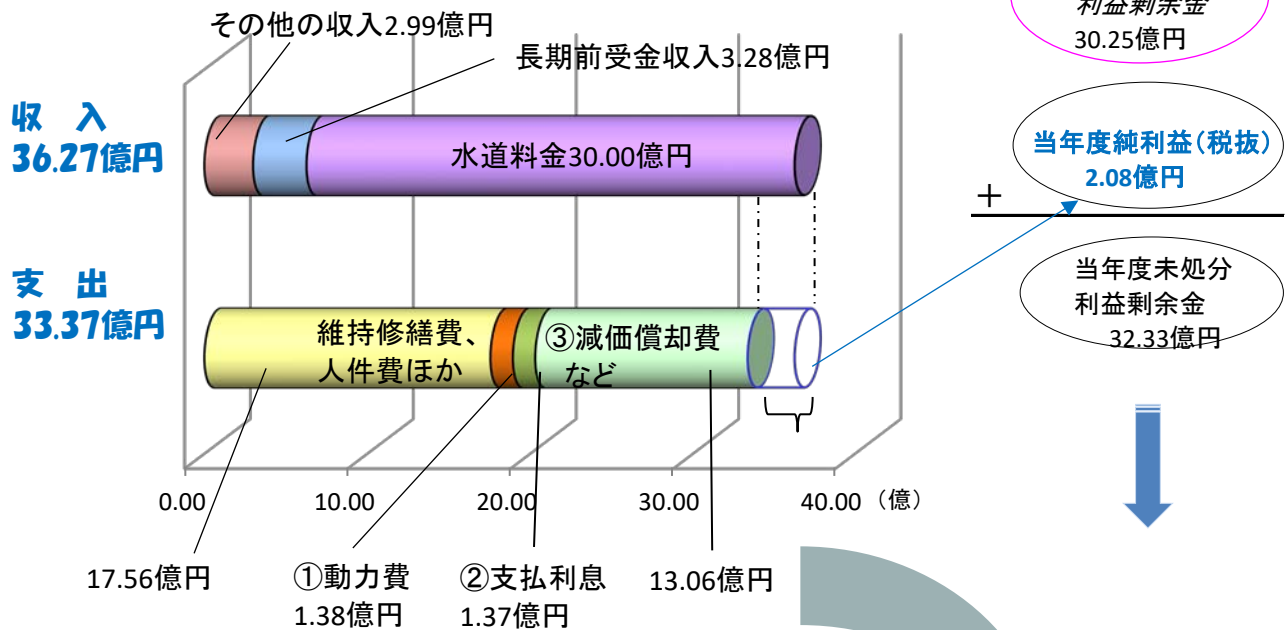
税抜き (単位: 千円)

科 目	令和4年度	令和3年度	増 減	対前年度比	主 な 内 容
翌年度利益剰余金	2,901,732	2,411,154	490,578	120.3	

*資本的収支不足額の補てん後の額を示す。

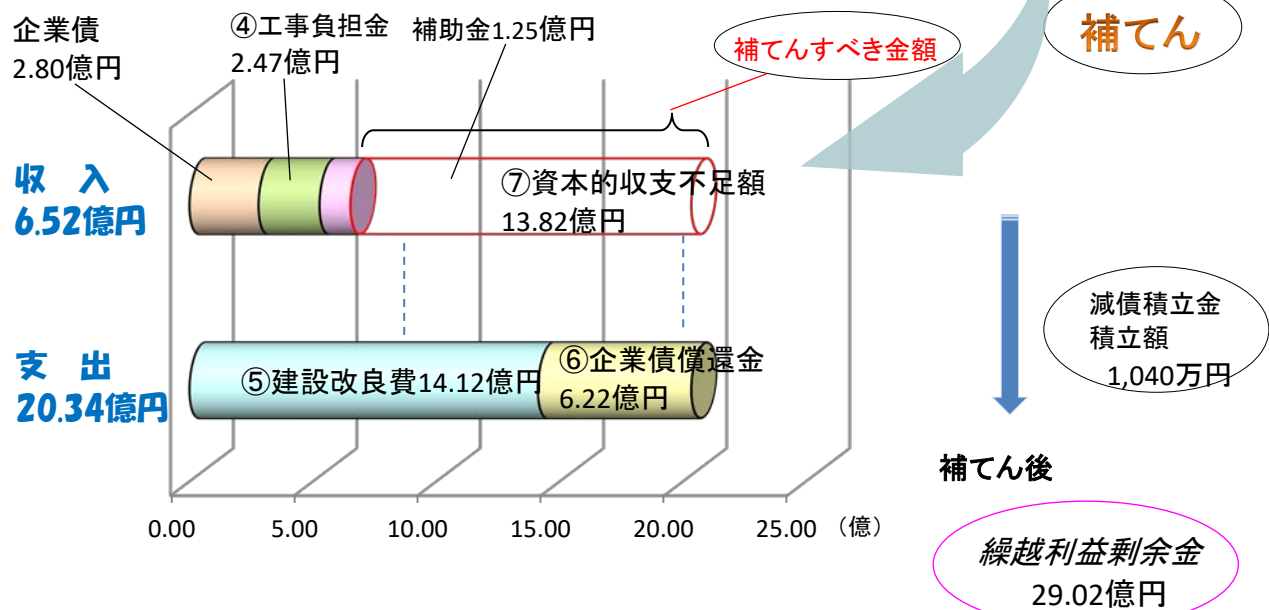
★収益的収支の予算（税込み）

（事業の運営や水道施設の管理に係る経常的な収支）



★資本的収支の予算（税込み）

（水道施設の新設や更新などに係る投資的な収支）



①動力費 …水道水をお届けするために必要な電気料金。

②支払利息 …企業債(借入金)の利息。

③減価償却費 …施設の新設や更新に使ったお金を一度に費用とはせず、毎年、費用化するものです。

④工事負担金 …下水道や土木工事などに伴い発生する他会計が負担すべきお金です。

⑤建設改良費 …施設の建設費や更新に伴う改良工事費で投資的要素があるものです。

⑥企業債償還金 …企業債(借入金)の元金の返済です。

⑦資本的収支不足額 …減価償却費や繰越利益剰余金などの内部留保資金で補てんします。

性質別の収入及び支出(税込み)

収益的収入の部

(単位:千円)

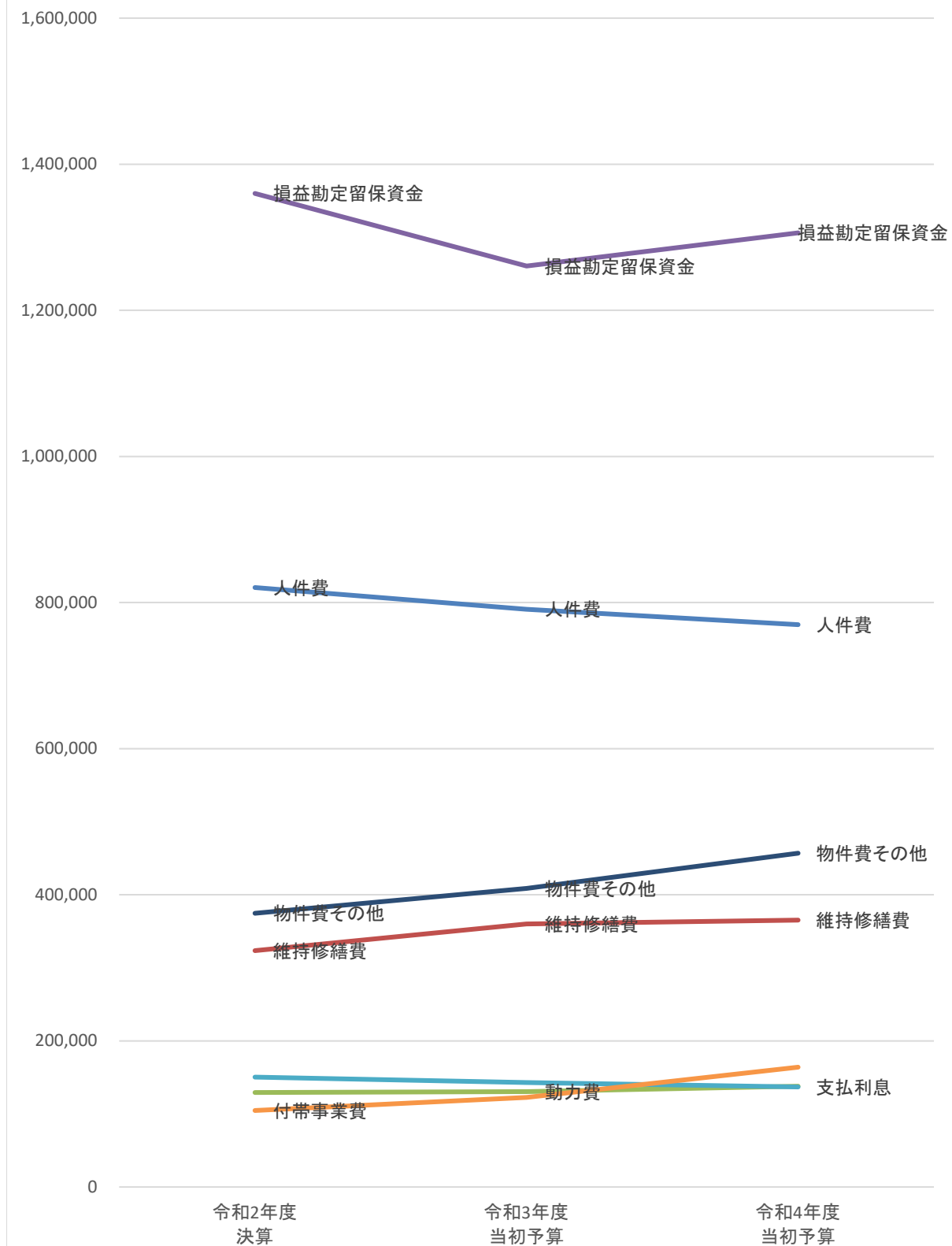
区 分	令 和 2 年 度 決 算	令 和 3 年 度 当 初 予 算	令 和 4 年 度 当 初 予 算
水 道 料 金	3,049,405	3,015,870	2,999,624
手 数 料	10,620	10,480	8,023
付 帯 事 業 収 益	108,902	122,829	164,072
加 入 者 納 付 金	40,833	38,417	30,731
長 期 前 受 金 戻 入	443,059	319,703	327,553
そ の 他	141,257	110,325	96,714

収益的支出の部

(単位:千円)

区 分	令 和 2 年 度 決 算	令 和 3 年 度 当 初 予 算	令 和 4 年 度 当 初 予 算
人 件 費	820,582	790,794	769,753
維 持 修 繕 費	323,553	359,912	365,326
動 力 費	129,351	130,627	137,963
損 益 勘 定 留 保 資 金	1,360,015	1,260,671	1,306,068
支 払 利 息	150,424	143,064	136,955
付 帯 事 業 費	104,729	122,765	164,008
物 件 費 そ の 他	374,686	408,881	456,913

収益的支出性質別推移



賀祥ダム負担金の推移

(単位; 千円)

区 分	年 度	h19	h20	h21	h22	h23	h24
	決算額	10,135	9,384	10,724	10,646	14,543	12,121
賀祥ダム 負担金	引当金取崩額	46,414	49,852				
	支払総額	56,549	59,236	10,724	10,646	14,543	12,121

h25	h26	h27	h28	h29	h30
17,685	13,990	8,784	10,333	33,546	30,657
17,685	13,990	8,784	10,333	33,546	30,657

R1	R2
31,301	30,000
	27,140
31,301	57,140

(単位; 千円)

区 分	年 度	R3	R4	R5	R6	R7	R8
	予算額	30,000	30,000				
賀祥ダム 負担金	引当金取崩額	56,914	33,545				
	支払予定額	86,914	63,545	53,000	63,000	42,000	23,000

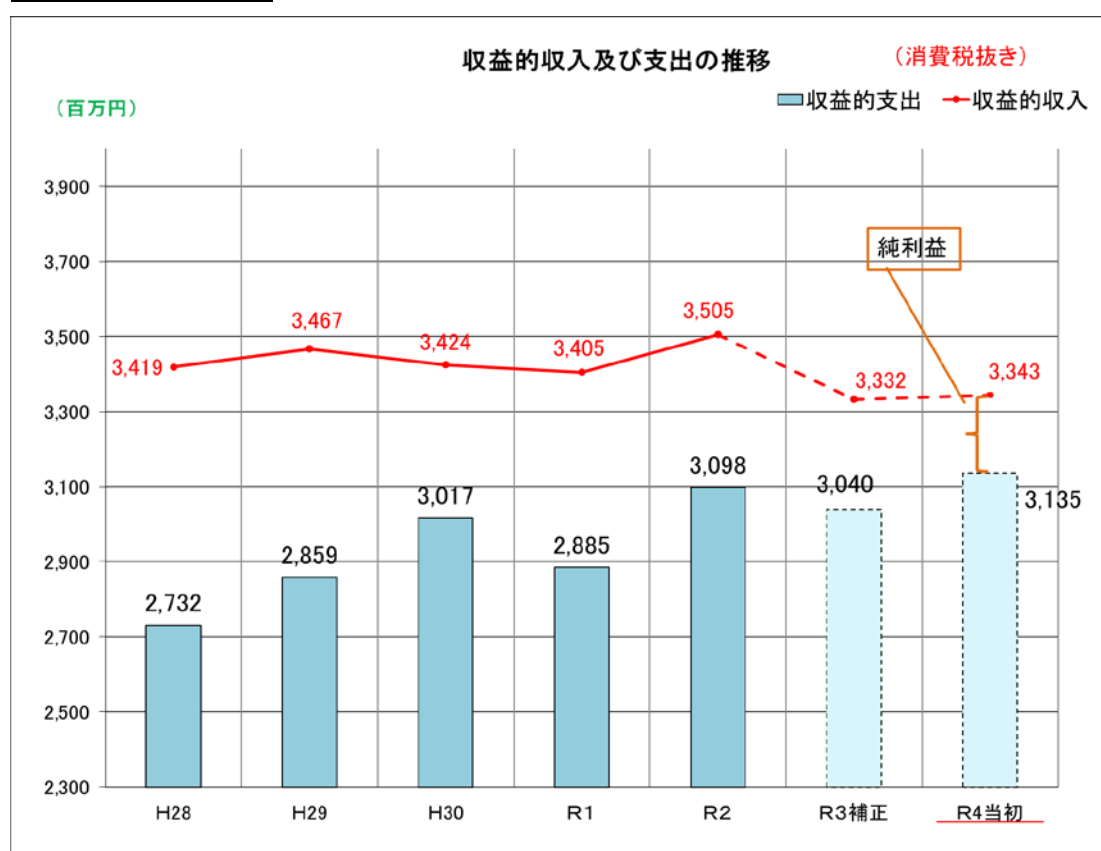
R9	R10
19,000	24000

- ※ H19, H20年度は、ダムコンピューター更新により支払額が増加したため、修繕引当金を取り崩した
- ※ R2～R7年度は、防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策による請求額の増加

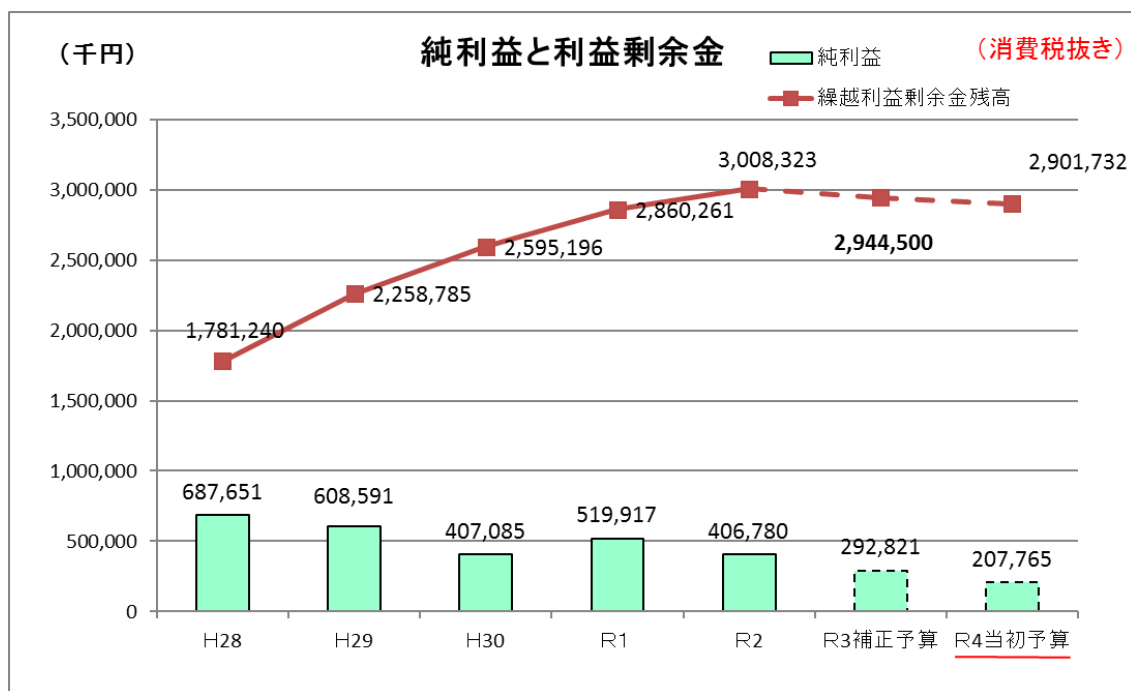
水道料金収入の推移



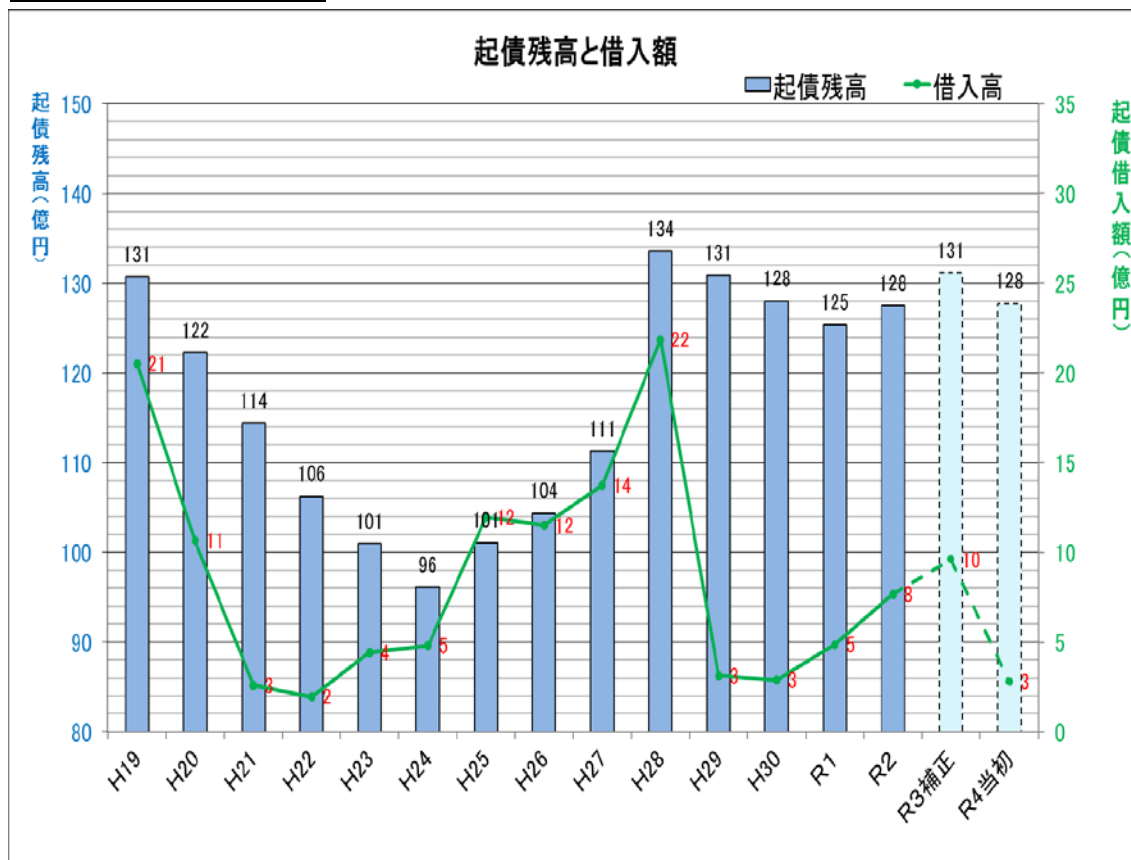
経常的な経費の推移



純利益と利益剰余金の推移



起債残高と借入額の推移



令和 4 年度米子市水道事業会計予算（案）の説明

今回、審議していただきます令和 4 年度米子市水道事業会計予算は、ご承認をいただきましたら、令和 4 年米子市 3 月定例議会に、令和 3 年度補正予算と合わせて提出する予定で進めております。

P1 令和 4 年度当初予算の概要

社会情勢を含めた予算の編成方針を記載しています。

予算編成の要点

給水収益は減収する反面、施設更新期を迎え厳しい経営環境の中でございますので、一層の事務事業の効率化と計画に掲げた施策の検証見直しに基づき進捗を図るべく予算編成いたしました。

3P 令和 4 年度事業計画

1～4 継続して行っている管網の整備です。

3 基幹管路更新事業 境港に向かう口径φ500mmを耐震化する工事です。

- ・4 年度は、富益地区（長兵衛川から米子製鋼付近）を主に推進工法で施工します。
- ・この工区は、4 年度に発注し、5 年度中の完成予定です。予算額 237,273 千円は 4 年度分の予算額で、総工費予定額は、474,546 千円です。
- ・国庫補助対象事業で、事業費の 1/3 の交付予定です。

4 防衛庁補助事業 米子鬼太郎空港周辺の安定給水のため、老朽した配水管を耐震化する補助事業です。

- ・事業費の 1/2 の交付予定です。
- ・令和 4 年度は、幸神体育館先を更新予定です。

5～7 は、水源施設の整備事業です。

5 石州府水源地開発事業 米子市工業用水道事業の廃止に伴い、工業用水事業の水源を水道事業の取水井戸とする事業です。完成後は、石州府水源地と呼称されます。

- ・事業は令和 4 年度～6 年度までの予定です。6 年 8 月供用開始予定です。
- ・令和 4 年度は、水源地から日下配水池までの間の管網の整備と取水井戸の設計委託を予定しています。

6 戸上水源地整備事業 令和 3 年度～7 年度までを工期とした、戸上水源地電気設備更新事業と事業計画に基づいた深井戸 1 号井を更新します。

・5 年にわたる戸上水源地電気設備更新事業は、継続費を設定し、年割額を定めています。予算は単年度主義ありますが、継続費で年割額を設定することによって、当該年度に執行しなかった予算額は、翌年度に繰り越すことができます。詳細は 4P に記載しています。令和 3 年度の年割額は、475,218 千円でしたが、3 年度分支払い予定額は、117,749 千円で、差し引き 357,469 千円は 4 年度予算に繰越します。この事業の財源として、企業債（借入金）、350,000 千円を借り入れる予定としておりましたが、80,000 千円とし、差し引き 270,000

千円は、4 年度に借り入れます。

- ・4 年度は、発電機の納入、設置、発電機室の建築を予定しています。

7 車尾水源地調整池更新事業は、令和 2 年度から 4 年度までの事業です。

・車尾水源地調整池は、令和 3 年度をもって本体は完成しました。令和 4 年度は、場内の配管、旧調整池の解体、進入路の整備などを行います。4 年度をもち事業全てが完成の予定としております。

8 米子市水道料金及び下水道使用料徴収等業務委託

・水道事業と下水道事業の営業部門（料金・使用料の検針、請求、収納など）業務を民間委託します。

- ・令和 4 年度に発注し、10 年度までの委託期間とします。
- ・令和 4、5 年度はデータ移行などの準備をいたします。
- ・支出は、令和 6 年度から令和 10 年度まで毎年 254,056 千円を予定しています。

4P 継続費に関する年割額予定

前述のとおり

下の表では、令和 3 年度予算額のうち、建設改良費 357,469 千円、企業債 270,000 千円を令和 4 年度予算に決算では繰り越します。その結果、決算額を見込みますと、3 年度、4 年度は近い数字となります。

5P~9P 予算総括表

・5P（1） 給水収益 過去 5 年の決算平均下降率、0.54%に令和 3 年度予算額を乗じて算出した結果 16,246 千円減少、2,999,624 千円

・6P（1） 原水及び浄水費中の賀祥ダム負担金の令和 4 年度分概算請求額は、63,545 千円で、予算からは 30,000 千円執行し、残り 33,545 千円は修繕引当金を取り崩す予定としております。国土強靱化 5 か年対策により、鳥取県の事業費増による請求額の増加です。賀祥ダム負担金の推移を 13P に記載していますので、ご参照ください。

収益的収支の結果、税込み純利益は 289,731 千円、税抜き純利益は、207,765 千円となりました。

- ・7P に各科目と用語の説明を追加しました。

8P 1 企業債の内訳は、老朽管更新事業の事業費 107,603 千円に対して 90,000 千円、基幹管路更新事業の事業費 237,727 千円に対して 100,000 千円、戸上水源地電気設備更新事業の年割額 105,444 千円に対して 90,000 千円、合計 280,000 千円を予定しています。

資本的収支の結果、収入不足額は、1,381,697 千円で、9P 5 資本的収入不足額補てんの内容のとおり補てんします。その中で上から 3 段目、繰越利益剰余金で補てんする額は、321,216 千円となります。

6 予定剰余金処分計算

前年度からの繰越 3,025,583 千円に 4 年度税抜き純利益 207,765 千円を加え、資本的収支の不足に補てんする額 321,216 千円、減債積立金に積立する額 10,400 千円を引いた残り 2,901,732 千円を 5 年度に繰り越す見込みです。

一連の会計の流れについては、10P にも記載していますので、ご参照ください。

11P 性質別の収入及び支出

前年度予算の審議会のご意見で今回から追加しました。12P はそのグラフです。今後は、水道局の年齢構成の中で人数割合の大きい世代、退職者が増えてくる時代にはなりますので、新陳代謝により人件費は減少します。また、建設投資の増加に伴って、損益勘定留保資金、配水管の撤去費用の増加に伴って、維持修繕費がそれぞれ増えることが予想されます。

11P からは、資料として各グラフを掲載しております。